

平成 27 年度 全国学力・学習状況調査、市学力調査の結果について【小学校】

学力調査結果の公表の考え方

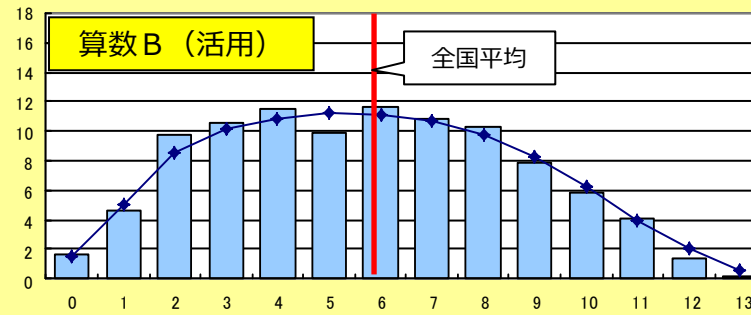
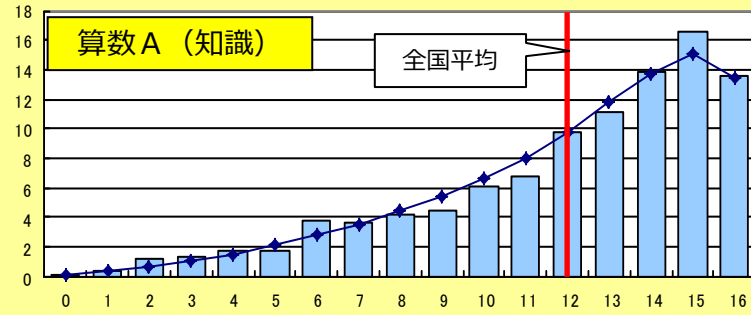
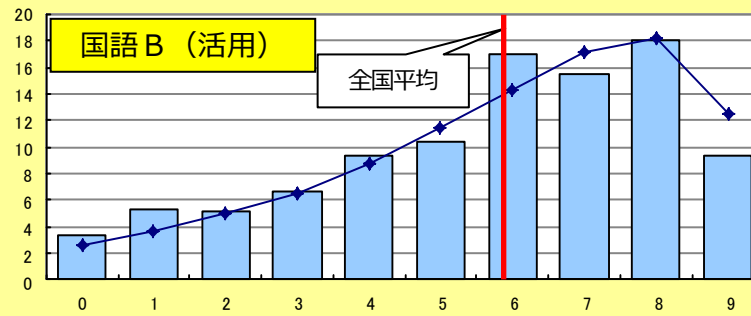
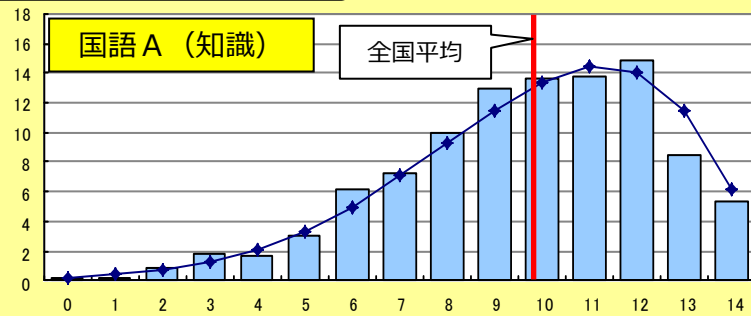
義務教育の目的は、各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培い、また、国家及び社会の形成者として必要とされる基本的な資質を養うことにある。
本市における、この義務教育の目的の学力面での達成状況を明らかにするため、学力調査の結果

に基づき、(1)基礎的な学力の定着状況と、(2)児童・生徒の一人一人の学力の伸長の度合いを市全体及び学校ごとにまとめ公表する。
また、この調査結果を、今後の教育活動の一層の改善・充実を図っていくための基礎資料とする。

学力の定着状況について 平成 27 年 4 月 21 日実施 平成 27 年度全国学力・学習状況調査の結果より

正答数分布

※縦軸：児童の割合 横軸：正答数 ※棒グラフ：東久留米市 折れ線グラフ：全国

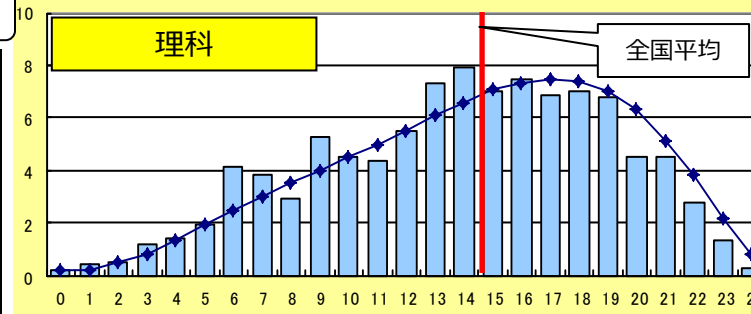


平均正答率 (全国) 未満の児童の割合 (%)

教科	本市	全国	東京都
国語 A (知識)	44.1	40.8	36.2
国語 B (活用)	40.1	37.9	35.8
算数 A (知識)	35.1	36.3	31.7
算数 B (活用)	47.8	47.3	43.6
理科	51.2	45.5	42.1

平均正答率 (%)

教科	本市	全国	東京都
国語 A (知識)	68.7	70.0	72.3
国語 B (活用)	62.7	65.4	66.5
算数 A (知識)	75.0	75.2	77.4
算数 B (活用)	44.0	45.0	47.8
理科	57.9	60.8	62.4



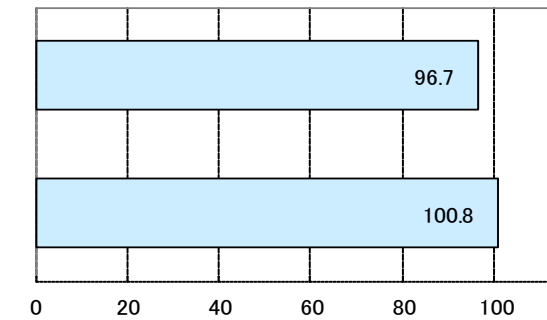
学力の伸びについて 平成 27 年 4 月 14 日実施 平成 27 年度市学力調査より

平成 25 年度小学 5 年生と平成 27 年度中学 1 年生 (同一生徒) の平均点を、それぞれ全国平均を 100 とした指数に換算し、伸びを比較

【国語】

平成 25 年度
小学 5 年生

平成 27 年度
中学 1 年生

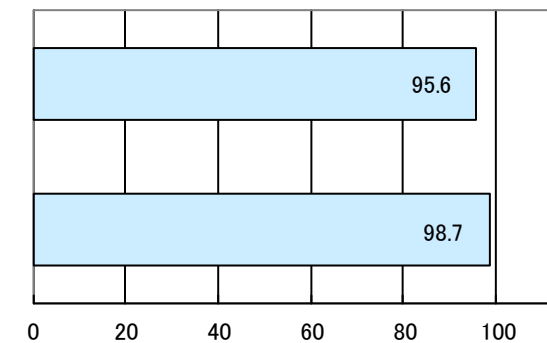


4.1 ポイント
上昇

【算数】

平成 25 年度
小学 5 年生

平成 27 年度
中学 1 年生



3.1 ポイント
上昇

調査結果の概要

現状・課題

【概要】

- 国語 A・B、算数 A、理科は正答数の多い層が厚く、算数 B は幅広く分布しており、正答数が少ない層が厚い。
- 平均正答率は、国語 A・B、算数 A・B、理科で、全国平均及び都平均を下回っている。
- 平均正答率 (全国) 未満の児童の割合は、全国に比べ算数 A は、全国より 1.2 ポイント下回っているものの、国語 A は 3.3 ポイント、国語 B は 2.2 ポイント、算数 B は 1.2 ポイント、理科は 5.7 ポイント上回っている。

【各教科の課題】 ※全国平均より下回っている課題のうち上位のもの

《国語》「文の主語を捉えること」「登場人物の行動を基にして場面の移り変わりを捉えること」「目的に応じ文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えること」「必要な情報を読み取ること」「声に出して読むときの工夫とその理由を書くこと」に課題が見られる。

《算数》「小数の減法について、計算の結果のおおよその大きさを捉えること」「示された二組の道のりが等しくなる根拠として、図形を見だし、その図形の性質を記述すること」「式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解すること」に課題が見られる。

《理科》「メダカの雌雄を見分ける方法の理解」「実験器具の知識」「水が水蒸気になる現象についての科学的な言葉や概念の理解」「規則性を見だし、問題の解決に活用すること」「調べた結果を視点をもって考察して分析すること」に課題が見られる。

【概要】

- 国語において、平成 25 年度小学 5 年生では、全国値 100 を、3.3 ポイント下回っていたが、平成 27 年度中学 1 年生では、0.8 ポイント上回り、2 か年で 4.1 ポイント上昇した。
- 算数において、平成 25 年度小学 5 年生については、全国値 100 を、4.4 ポイント下回っていた。平成 27 年度中学 1 年生も、1.3 ポイント下回ったものの、2 か年で 3.1 ポイント上昇した。

【各教科の課題】 ※全国平均より下回っている課題のうち上位のもの

《国語》

- 「表現に注意して読むこと」「心情の読み取り」「同音異字」「季節の読み取り」「複合語の知識」に課題が見られる。

《算数》

- 「三角柱の頂点の数」「起こり得る場合の数」「分数÷分数」「公倍数」「メートル法・長さ」に課題が見られる。